

ご存知
ですか?

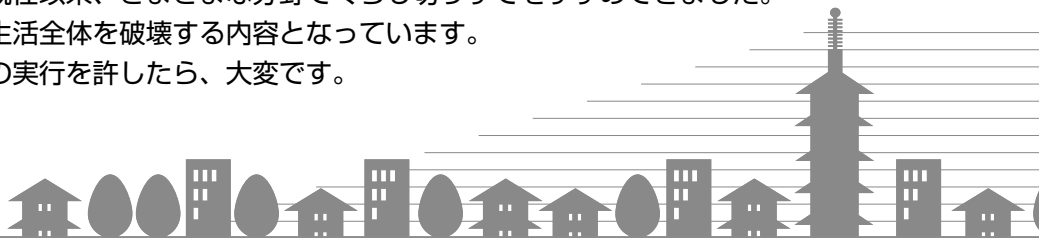
生活破壊

あれもこれも
切りすて



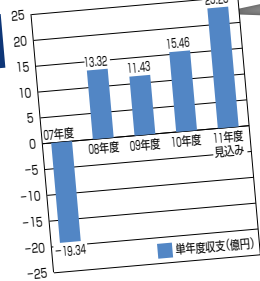
京みやこプラン 実施計画

京都市は今年3月、「はばたけ未来へ！京プラン実施計画」を発表しました。門川市長は就任以来、さまざまな分野で暮らし切りすてをすすめてきました。さらに市民生活全体を破壊する内容となっています。こんな計画の実行を許したら、大変です。



これまでも
暮らし切り
すての数々

国保料
黒字なのに
3年連続
値上げ



京都市の国保会計は4年連続で合計63億円の単年度黒字の見込み。なのに京都市は、国保料を3年連続値上げ。「負担は限界、引き下げて」の声に応えず、今年度も据え置きのまま。差し押さえも急増しています。

休日急病診療所

市内3カ所の休日急病診療所を廃止し、二条駅前の**1カ所に統合**

市立看護短期大学

「充実を検討」の公約に反し、存続を求める声を**無視して廃止**

教育リストラ

学校統廃合によるリストラなどで、教育予算を10年間で100億円削減。アルマイト食器やマンモス校放置など、**学校間格差は拡大**

民間保育園「プール制」

民間保育園の運営費に対する市の補助制度、「プール制」を改悪し、**補助金を5億円カット**

さらに
4年間で
250億円も削減

大行革計画

生活破壊目白押し

「京プラン実施計画」は、今後4年間、社会福祉関係費など事業の見直しで、毎年25億円ずつ削減額を増やし、合計250億円を捻出するとしています。2012年度予算では、「目標」を上回る28億円を削減。次のようなものが含まれています(今年度削減額が明らかにされているもの)。

項目・内容	今年度削減額
生活保護受給者の「就労支援の充実」と「適正な制度運営」で	1億3500万円
市有地に建設された民営の特別養護老人ホーム及びケアハウスの土地貸付料有料化	3600万円
緊急通報システム 一人暮らし高齢者の安全確保の事業を「利用者負担の公平化」と称して負担増。無料だったのに月額約1500円となる例も	900万円
民間社会福祉施設 産休等代替職員補助の廃止	1800万円
京都社会福祉協会助成の廃止	300万円
看護師確保対策事業の予算半減	700万円
市バス事業への繰出金削減	1億2600万円
地下鉄事業への繰出金削減	7600万円

その上こんな計画も

☒ 8万人に6億円の負担増。65歳以上を対象とした**個人市民税軽減措置の「見直し」**(=廃止を狙う)

☒ **合計33項目の削減を提案**
▶ 保育料、学童保育利用料、敬老乗車証の「検討」(=値上げ?)

▶ 市営保育所の民営化
▶ 洛西ふれあいの里宿泊施設の休廃止
▶ 学童う歯対策の「検討」(=廃止?)

☒ **関係者の声も聞かず、市有財産の切り売り**
▶ 元消防学校跡地(伏見区)、左京区役所跡地、木造市営住宅、障害者福祉協会跡地など
▶ 小学校跡地への「民間活力」導入も

☒ **消防職員80人を含む690人の職員削減**
▶ 初めて「部門別定員管理計画」を策定
▶ 10年間では1400人の職員削減=市民サービスを次々切りすて

条例つくって
取り立て強化

- ▶ 市税や公共料金の徴収率を上げるため、「債権管理条例」(仮称)の制定を検討
- ▶ 滞納に至る経過を考慮せず、情け容赦のない差し押えに道を開く

え!?
これは大変!!

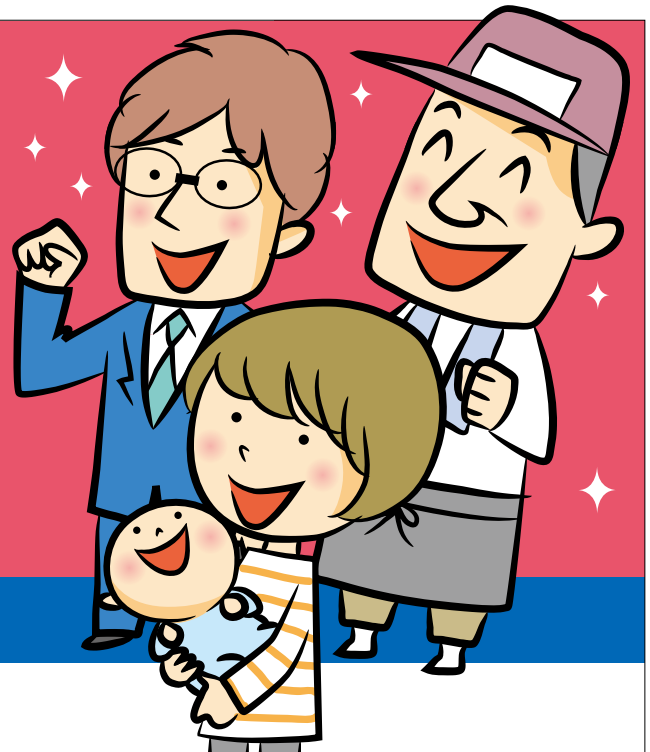


自治体の本来の役割は住民の暮らしを守ること。これではまるで「取り立て屋」

議員団の見解、「市民生活を破壊し、自治体を変質させる『京プラン実施計画』」の全文は、ホームページに掲載しています。ご意見、ご感想をお寄せください

ムダづかいをやめ
くらしをあたためて

財政再建を



共産党京都市議団の提案

事故続きで試運転もできない 焼却灰溶融施設に 20年間で **560**億円

事故を繰り返し、当初の予定から2年半もたつのに試運転すらできない焼却灰溶融施設。本格稼働すれば、建設費と運転経費で、20年間に約560億円を要するべく大なムダづかいです。京都市はすみやかに中止を決定し、欠陥施設は住友重工に返品すべきです。

ムダ!!

京都会館建て替え費用 市民の声を無視し **114**億円に膨張

「現在の建物価値の継承を」との市民の声を無視し、市自ら高さ規制を緩和してまで推進している京都会館建て替え計画。総工費は解体費用とあわせると、約114億円で膨張しています。建物価値を生かした改修なら、工事費は数10億円単位で少なくできます。

ムダ!!

リニア新幹線京都駅ルート誘致 地下駅建設 **2200**億円

東京-大阪間のリニア新幹線は、9兆円の巨大プロジェクト。電力もいまの新幹線の3倍以上が必要です。国民的な必要性も、省エネ時代の大義もありません。リニア新幹線の京都駅ルート誘致に熱心なのが京都市。地下駅建設となれば、2200億円を要します。強引な誘致は地元負担に結びつきます。こんな計画は撤回すべきです。

ムダ!!

国も市も

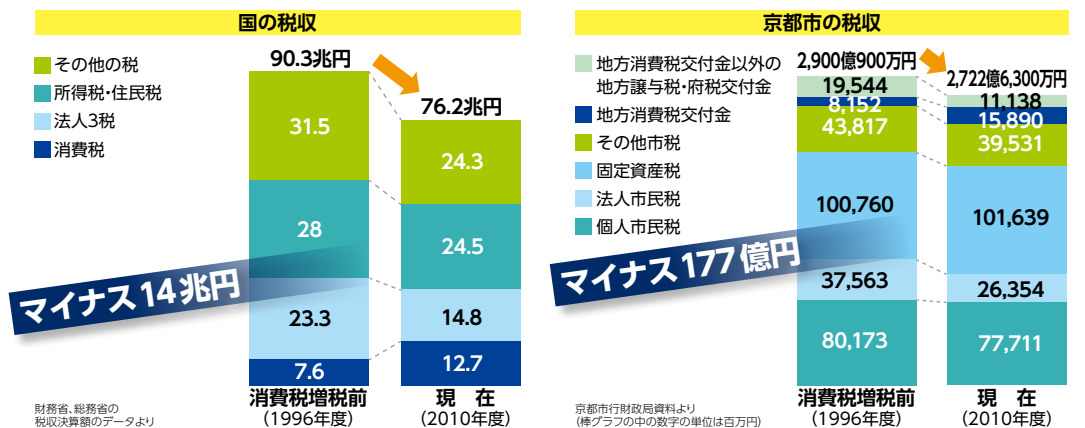
消費税増税だのみは くらし・経営、財政 破たんへの道

国全体でも京都市でも、消費税率を3%から5%に引き上げた1997年の前と後で、消費税収は増えても、景気の後退で税収全体は減っています。この上、10%への増税となれば、市民のくらしと経営を破壊し、市財政再建にも逆行することは明らかです。

ムダづかいにこそメスを入れ、消費税増税にはキッパリ反対して、市民のくらしと経営をあたためる経済政策に転換してこそ、健全な市財政が確立できます。



国も京都市も、消費税を増税しても税収はふえない



財務省、総務省の税収決算額のデータより

京都市行政局資料より (棒グラフの中の数字の単位は百万円)



6月26日、「一体改革」法案衆院強行に抗議宣伝を行なう市議団

日本共産党市会議員団 お気軽にご相談ください TEL: 075-222-3728 FAX: 075-211-2130 E-mail: info@cpgkyoto.jp

京都市議員団 検索



左京区 加藤 あい 左京区 ひぐち英明 左京区 とがし 豊 山科区 北山ただお 山科区 宮田えりこ 北区 井坂 博文 北区 玉本なるみ 上京区 くらた共子 中京区 倉林 明子 下京区 山中 渡 南区 井上げんじ 右京区 岩橋ちよみ 右京区 西村よしみ 西京区 河合ようこ 伏見区 西野さち子